釈

11画

釆 釆 釆 釆 釆 釈

とめる

おん シャク

なりたち 旧字は釋。擇＝択（えらぶ）の意味の睪と、穀物の種を表した釆（番）との会意形声字で、〝種を選ぶ〟ことを表した字。転じて、やさしい言葉を選んで〝わかりやすく説く〟こと。さらに転じて、〝解き放つ〟こと。

いみとじゅくご

▼説く。説（解）き明かす。

解釈…文章や物事の意味を、説き明かすこと。また、その説明。**用例** その解釈は間違っている。

釈明…誤解や疑問を解き明かすこと。申し開きをすること。弁明。**用例** 釈明を求められる。

▼疑いが消えてすっきりする。

釈然…疑いや迷いが消えて、心が晴れる様子。**用例** 釈然としない答弁。

▼とかす。水でうすめる。

希釈…溶液に水などを入れて薄くすること。

▼ゆるす。解き放つ。

釈放…とらえておいた人を許して自由にすること。**用例** 捕虜を釈放する。

よみかた 釈尊・会釈・講釈・注釈・評釈・保釈

駅

【3年】

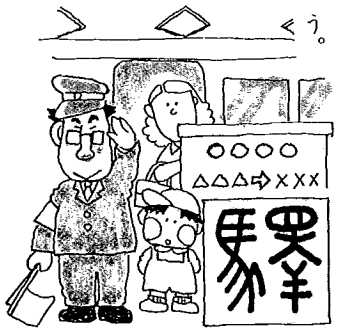
14画

一 丆 丆 馬 馬 駅

はねる

おん エキ

なりたち 旧字は驛。換える意味の睪と馬との会意形声字。昔、宿場ごとに馬が用意されていて、長い旅をする人はこの馬を乗り継いだ。それで宿場を駅といった。次々に馬を換えるところから〝次〟ともいう。



いみとじゅくご

▼馬つぎ場。宿場。

宿駅…宿場。

▼次から次へとおくる。つづく。

駅伝…❶昔の交通通信制度。宿場から宿場へ人や荷物を運び届けるもの。また、それに使われる馬車。❷駅伝競走の略。長距離のリレー競走。

▼鉄道の停車場。

駅頭…駅の近く。特に駅の前。**用例** 駅頭で待ち合わせる。

駅長…駅で働いている人たちのいちばん上の責任者。

よみかた 駅員・駅舎・駅弁・貨物駅・始発駅・終着駅

ミニ知識 **東海道五十三次**＝江戸時代、江戸と京都を結んだ東海道におかれた宿場。品川から大津まで五十三駅であったため、五十三次という。

択

7画

扌 扌 扌 扌 択

はねる

おん タク

なりたち 旧字は擇。換える意味の睪とすとの会意形声字。物を取り換える時には必ず選ぶので〝選びとる〟という意味を表す。

いみとじゅくご

▼えらぶ。えらびとる。

選択…適当なものを選び取ること。

採択…意見や案を良いものとして選び取ること。

択一…一つだけ選び取ること。**用例** 二者択一を迫られる。

沢

7画

氵 氵 氵 沢 沢

はらう

おん タク

さわ

なりたち 本字は澤。選択の意味の睪と氵との会意形声字。人が選択して住む〝川の水の豊かな所〟を表した字。〝さわ〟。転じて、〝物の豊かなこと〟から、〝うるおう〟という意味に使われる。

いみとじゅくご

▼さわ。

沼沢…ぬまとさわ。**例** 沼沢地（池や沼がある低湿地。）

▼うるおう。豊か。

潤沢…豊富でゆとりのあるさま。**用例** 潤沢な資源。

贅沢（ぜい）…必要をはるかに上まわる無駄な消費。

▼うるおす。めぐむ。めぐみ。

恩沢…めぐみ。

沢雨…めぐみの雨。

▼つや。かがやき。

光沢…物の表面から出るかがやき。つや。

手沢…物を使い込むうち手垢（あか）がついたりして出てくるつや。**例** 手沢本（愛蔵本。書き込みなどした本。）